

# 調布市民意識調査報告書

令和4年度版



令和5年3月

調 布 市



## 目 次

<b>第1章 調査の目的と概要</b> .....	1
1 調査の目的 .....	3
2 本報告書の特徴 .....	3
3 調査の内容（設問の構成） .....	4
4 調査方法及び調査期間 .....	9
5 回収の結果 .....	9
6 地域区分 .....	10
7 報告書を見る際の注意事項 .....	11
<b>第2章 回答者の属性</b> .....	13
<b>第3章 調査結果</b> .....	25
1 調査結果の概要 .....	27
(1) 回答者の属性 .....	27
(2) 今後の定住意向 .....	28
(3) 市政全般に対する満足度・優先度 .....	28
(4) まちづくり指標 .....	32
2 集計結果 .....	40
(1) まちの魅力と今後の定住意向 .....	40
(2) 新型コロナウイルス感染症の影響 .....	52
(3) 市政全般（くらし） .....	86
(4) 日ごろの意識や行動 .....	130
防災について .....	130
防犯対策について .....	141
各種相談について .....	146
地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉について .....	149
健康づくりについて .....	161
生涯学習について .....	170

スポーツ振興について .....	174
地域コミュニティについて .....	178
産業・農業・観光について .....	195
芸術・歴史文化について .....	220
良好な市街地について .....	224
道路・交通について .....	239
住環境づくり・地球温暖化対策について .....	256
平和について .....	264
児童虐待・人権・男女共同参画について .....	268
市政等の情報について .....	282
SDGs について.....	301
(5) 公共施設マネジメント .....	304
<b>【参考】 調査票 .....</b>	<b>319</b>

# 第1章 調査の目的と概要

---



## 1 調査の目的

調布市は、調布市基本構想（平成 25 年度～令和 4 年度）及び調布市基本計画（令和元年度～令和 4 年度）に基づき、総合的かつ計画的なまちづくりを進めています。

調布市基本計画では、計画期間中の各施策の成果を図る目安として「まちづくり指標」を設定しています。

調布市民意識調査は、「まちづくり指標」の現状値や、市民が日常感じているくらしの満足度、市の施策に関する市民ニーズ等を把握し、今後の市政・まちづくりに活用することを目的としています。

また、調布市は基本計画と連動させ、「調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「調布市総合戦略」という。）を整理しています。調布市総合戦略は、やがて訪れる人口減少、本格的な超高齢社会に対して、将来にわたって活力ある豊かな地域社会を維持し、だれもがより安心して快適に暮らせるまちづくりを総合的に推進していくための施策展開を図るものです。

調布市総合戦略においても、施策の効果を検証するため、成果指標を設けており、本調査により数値を把握することとしています。

## 2 本報告書の特徴

### 「まちづくり指標」の現状値を把握

基本計画（令和元年度～令和 4 年度）の分野別計画では、全 31 施策、87 項目のまちづくり指標を設定しています。そのうち、本調査により把握するものは 19 施策 29 指標となっています。

これらの指標について令和 4 年度における現状値を把握するとともに、経年変化の比較を、表やグラフを用いて、分かりやすく記載しています。

### 満足度と優先度の両面から分析

効果的・効率的に行財政運営を進めるため、市民が普段のくらしの中で感じている、市政全般に対する満足度と合わせて、今後において解決、改善、向上に向け取り組むべきと思う施策の優先度を把握することにより、今後、重点的に力を入れて改善すべき分野を分析しています。

### 調布市総合戦略に位置付けた「基本目標における数値目標」及び「重要業績評価指標(KPI※)」の現状値を把握

調布市総合戦略では、施策の効果を客観的に検証するため、基本目標ごとに数値目標を、また、施策ごとに重要業績評価指標（KPI）を設定しています。

調布市総合戦略における KPI は、基本計画で設定しているまちづくり指標と連動しているため、本調査では、KPI 全 87 指標のうち、29 指標の現状値を把握します。

※重要業績評価指標（KPI）…Key Performance Indicator の略。各施策の効果を客観的に検証するため、施策ごとに設定する成果指標をいう。

【図表 調布市基本構想・基本計画・総合戦略の計画期間】

年度 (西暦)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31/R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
基本構想	調布市基本構想									
基本計画	前期基本計画									
			修正基本計画			後期基本計画				
総合戦略	調布市総合戦略（令和元年度から基本計画と一本化）									
市長任期										

第1章 調査の目的と概要

3 調査の内容（設問の構成）

調査の設問は、「あなたご自身のこと」、「まちの魅力と今後の定住意向」、「新型コロナウイルス感染症の影響」、「市政全般（くらし）」、「日ごろの意識や行動」、「公共施設マネジメント」の6区分で構成されており、具体的な設問内容は以下のとおりです。

【図表 設問の構成】

設問		基本計画 まちづくり指標 (R1~4)	報告書 掲載頁
問	内容		
<b>回答者の属性等</b>			
1	性別		15
2	年齢（令和4年10月1日現在）		15
3	世帯の家族構成		16
4	同居する家族		16
5	職業		17
5-1	通勤（就業）・通学先		17
6	普段閲覧・活用しているSNS		18
7	居住する住居形態		18
8	現在の居住地域		19
9	居住年数		20
10	以前の居住地域		20
10-1	調布市に住んだきっかけ		21
10-2	家族構成や家族の状況が変わった理由		22
<b>まちの魅力と今後の定住意向</b>			
11	あなたは、調布のまちに親しみや愛着を感じていますか。		40
11-1	親しみや愛着を感じる場所はどんなところですか。		42
12	あなたは、今後も調布市に住みたいと思いますか。		43
12-1	あなたは、調布のまちの魅力や個性・特色は何だと思いますか。		46
12-2	「事情が許せば転出したい」「転出するつもりでいる」と思う理由		49
<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>			
13	新型コロナウイルス感染症の流行前（令和2年1月頃）と現在を比べて、あなたの生活にどのような影響や変化がありましたか。		52
14	あなたは、新型コロナウイルスの感染拡大による影響で不安を感じていることがありますか。		65
15	新型コロナウイルス感染症の流行前（令和2年1月頃）と現在を比べて、利用頻度に変化はありましたか。		78
16	新型コロナウイルス感染拡大に伴う市独自の対策についてどう思いますか。		84
<b>市政全般（くらし）</b>			
	次のそれぞれの取組に関して、普段のくらしの中で感じている「①満足度」と、今後における市の取組としての「②優先度」をうかがいます。		86
17	基本目標1	地震への災害対策	96
		風水害などへの災害対策	
		火災などへの消防対策	
		防犯対策	
基本目標2	子育て支援サービス	○	98

設 問		基本計画 まちづくり指標 (R1~4)	報告書 掲載頁
問	内 容		
	ひとり親家庭への生活・経済面の支援		
	小・中学校の教育		
	青少年の非行防止や健全育成対策		
	就労などの面で困難をかかえる若者への支援		
基本目標3	高齢者の福祉		101
	障害者の福祉		
	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組		
	健康診断などの保健サービス		
	医療体制の充実		
	共生社会の充実・パラハートちょうふの取組		
基本目標4	図書館	○	104
	たづくりを中心とした生涯学習		
	スポーツ振興		
	公民館	○	
基本目標5	地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援		106
基本目標6	日常の買い物の便利さ	○	108
	市内工業・商業などの活力		
	市内中小企業に対する支援		
	深大寺地域などの観光振興		
	調布花火（映画のまち調布花火）		
	「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組	○	
	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動		
	歴史・文化財の保存や継承		
基本目標7	街並み・景観		112
	中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい		
	自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）		
	道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）		
	既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）		
基本目標8	緑や自然環境の保全		116
	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組		
	公園や遊び場		
	ごみ処理		
	生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策）	○	
まちづくりの基本理念を実現するために	平和・国際交流の取組		119
	人権に関する啓発・相談		
	女性の社会参加・参画		
	多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組		
行革プラン2019	市民参加と協働の取組		121
	市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信		

## 第1章 調査の目的と概要

設 問		基本計画 まちづくり指標 (R1~4)	報告書 掲載頁
問	内 容		
	ホームページの見やすさ		
	民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組		
	窓口・電話における職員の対応		
	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組		
	行政サービスのデジタル化の取組		
	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組		
	行政評価の取組		
	支出の節減, 収入の確保, 受益者負担の適正化など		
17-1	あなたは、問17の取組項目の中で、今後、市がもっと力を入れるべきだと思う取組はどれですか。		126
<b>日ごろの意識や行動</b>			
18	あなたは、日ごろからどのような防災対策に取り組んでいますか。	○	130
18-1	「まだ取り組んでいないし、取り組む予定もない」の主な理由をお聞かせください。		139
19	あなたは台風や地震等の災害時にどのように情報を得ていますか。		140
20	あなたは、自分の住んでいる地域が治安の面で安心して暮らせる場所だと感じていますか。	○	141
21	あなたは、特殊詐欺被害防止のためにどのような対策をしていますか。		144
22	あなたは、この1年間に日常生活の中で、身に覚えのない請求や、しつこい勧誘など、消費生活に関するトラブルに巻き込まれそうになった経験がありますか。		146
22-1	トラブルに巻き込まれそうになった際、どちらかへ相談しましたか。		148
23	あなたは、地域福祉や高齢者福祉に関する次の相談窓口を知っていますか。	○	149
24	あなたは、地域における交流の場（「ひだまりサロン」など）についてどのように感じますか。		159
25	あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。		160
26	あなたは、心身ともに健康だと感じていますか。	○	161
27	あなたは、健康ではりのある生活のため、趣味活動や地域活動などに参加していますか。		163
28	あなたは、定期的ながん検診を受けていますか。	○	165
29	あなたは普段、たばこ（紙巻きたばこ・加熱式たばこ、葉巻）を吸いますか。		167
30	あなたは、調布市受動喫煙防止条例（平成31年3月公布、令和元年7月施行）を知っていますか。		168
31	あなたは、この1年間に、生涯学習に取り組みましたか。	○	170
32	あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能を、まちづくりや仲間づくり、地域活動など自分以外のために生かしていますか。	○	172
33	あなたは、健康・体力づくりのために体を動かしていますか。	○	174
34	あなたは、地域の一員としての意識や地域の連帯感を感じていますか。	○	178
35	あなたは、「地区協議会」を知っていますか。		181
36	あなたは、この1年間に、地域の活動やイベントに参加しましたか。	○	183
36-1	参加した団体、活動、場所。		185
37	あなたは、調布市市民活動支援センター（市民プラザあくろす2階（国領駅北側コクティール内））を利用したことがありますか。		192
37-1	利用しない理由。		194
38	あなたは、この1年間に次のイベントや施設、場所に行ったことがありますか。		195
39	買い物や食事など、お店選びで重視していることは何ですか。		209
40	あなたは、キャッシュレス決済ポイント還元事業を利用しようと思いませんか。		213
40-1	事情（問題）があっても利用できない場合、問題になっていることは何ですか。		214

設 問		基本計画 まちづくり指標 (R1~4)	報告書 掲載頁
問	内 容		
41	あなたは、市内農家の農産物直売所（市内スーパーの直売コーナー、農協直売コーナーを含む）を利用していますか。	○	215
42	あなたは、市内に農地が必要だと思いませんか。		217
42-1	市内に農地が必要だと思う理由。		219
43	あなたは、この1年間に、市内・市外を問わず、芸術文化（音楽、演劇、美術、舞踊等伝統芸能、映画など）の鑑賞や、自ら芸術文化活動を行いましたか。		220
43-1	芸術文化を鑑賞した、または芸術文化活動を行った場所。	○	222
44	あなたは、調布市を住みよいまちだと思いませんか。	○	224
45	あなたは、調布市内に優れた景観の場所があると思いませんか。	○	227
45-1	優れた景観だと思う場所。		229
46	あなたは、深大寺周辺の景観が優れていると思いませんか。	○	230
47	あなたは、中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的なまちであると思いませんか。	○	232
48	あなたは、普段どの駅を最も利用しますか。		234
48-1	あなたはその駅の周辺は利便性が高いと思いませんか。	○	235
49	あなたは、市内の道路について、道路の利用者が目的地まで行きやすく、利便性の高い道路ネットワークが形成されていると思いませんか。	○	239
50	あなたは、普段利用する道路について、通行しやすいと感じていますか。	○	241
51	あなたは、市内でシェアサイクルを利用したことはありますか。		251
52	あなたは、市内の公共交通機関（電車・路線バス・ミニバス）について利用しやすいと思いませんか。	○	252
53	あなたは、自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していますか。		255
54	あなたの住んでいる住居はバリアフリー（段差解消やスロープの設置など）対応になっていますか。	○	256
55	あなたの住んでいる住居において、再生可能エネルギーを利用していますか。また、創エネルギー設備を設置していますか。		259
56	あなたは、たとえば、あなた自身や家族・親戚が所有する市内の物件について、適切な管理が行われていない空き家とならないための対策が必要だと思いませんか。	○	261
56-1	あなたは、空き家対策として、今後、市が優先して取り組むべきことは何だと思いませんか。		262
57	あなたは、これまでに戦争中の話をしたり聞いたりしたことがありますか。	○	264
57-1	それはいつ頃ですか。		266
57-2	それは誰と（誰から）話をしたり聞いたりしましたか。		267
58	あなたは、児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）に関する次の相談窓口を知っていますか。	○	268
59	あなたは、家事・子育て・介護などの家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思いませんか。		272
60	次の場面について、あなたは男女平等だと感じていますか。		275
61	あなたは、多様な性に関してLGBTやSOGIという言葉を知っていますか。		278
62	あなたは、多様な性に関する啓発などについて、どのような取組が必要だと思いませんか。		280
63	あなたは、市政・まちづくりに参加したいと思いませんか。		282
64	あなたは、市民参加の取組を行うとしたら、どのような手法なら参加できますか。また、より多くの市民の意見が行政に届くには、どのような参加手法をとればよいと思いませんか。		283
65	あなたの市政・まちづくりに関する情報の入手方法は何か。		286
66	市議会が行っている広報・広聴活動のうち、あなたが知っているものはどれですか。		294
67	あなたが、調布市が行う行政サービスのデジタル化の取組について、特に力を入れて欲しいと思う取組。		295
68	あなたが使っているキャッシュレス決済は何ですか。		297
69	調布市がスマートシティを目指すに当たって、ICT（情報通信技術）を活用してほしい分野や、日々の生活で不便さを感じている分野。		298

## 第1章 調査の目的と概要

設 問		基本計画 まちづくり指標 (R1~4)	報告書 掲載頁
問	内 容		
70	ふるさと納税に伴う個人市民税の税額控除による、市税の減収影響が大きな問題となっています。財源確保のため、今後市が取り組むべきだと思うもの。		300
71	あなたは、国連で採択された持続可能な開発目標SDGsを知っていますか。		301
<b>公共施設マネジメント</b>			
72A	あなたがこの1年間で利用したことのある施設。		304
72B	あなたが重要だと思う施設。		308
73	調布市公共施設等総合管理計画では、公共施設マネジメントの基本方針として、「最適化に向けた適正な配置と総量の抑制」、「適切な維持管理・運営の推進」、「民間活力等の活用」を掲げています。それらを踏まえて、あなたが取り組んだ方が良いと考えるものは何ですか。		309
74	あなたは、この1年間に、グリーンホールを利用したことがありますか。		311
74-1	どのような目的で利用しましたか。		312
75	あなたが、グリーンホールにおけるホール機能として、最も重要だと思うものは何ですか。		314
76	あなたが、グリーンホールの施設整備で優先的に力を入れて取り組むべきと考えるものは何ですか。		315

## 4 調査方法及び調査期間

### 調査対象者

市内在住の満16歳以上の市民を対象とし、住民基本台帳から、性別・年齢・地域別の人口構成に合わせて、3,000人を無作為に抽出しました。

### 配布と回収

郵送により調査票の配布及び回答された調査票の回収を行いました。

あわせて、インターネットを活用した回答の回収も行いました。

### 調査期間

令和4年11月14日（月）～令和4年12月15日（木）

## 5 回収の結果

調査票の配布数は3,000件、回収数は1,193件（うち、インターネット回答136件）、回収率は39.8%であり、各属性の回収結果は以下のとおりです。

【図表 属性ごとの回収結果】

属性		対象者数 <sup>※1</sup>		配布数 <sup>※2</sup>		回収数		回収率
		実数	構成比	実数(票)	構成比	実数(票)	構成比	(%)
		(人)	(%)	(a)	(%)	(b)	(%)	(b/a)
総数(16歳以上)		202,971	100.0	3,000	100.0	1,193	100.0	39.8
性別	男性	97,927	48.2	1,462	48.7	503	42.2	34.4
	女性	105,044	51.8	1,538	51.3	663	55.6	43.1
	回答しない (無効回答)	—	—	—	—	16	1.3	—
年齢	16～19歳	7,904	3.9	114	3.8	38	3.2	33.3
	20～29歳	27,571	13.6	414	13.8	82	6.9	19.8
	30～39歳	29,899	14.7	438	14.6	125	10.5	28.5
	40～49歳	37,134	18.3	549	18.3	218	18.3	39.7
	50～59歳	36,490	18.0	543	18.1	220	18.4	40.5
	60～69歳	23,142	11.4	342	11.4	196	16.5	57.3
	70歳以上 (無効回答)	40,831	20.1	600	20.0	302	25.3	50.3
年齢 内訳	60～64歳	12,621	6.2	—	—	88	7.4	—
	65～69歳	10,521	5.2	—	—	108	9.1	—
	70～74歳	12,514	6.2	—	—	177	14.8	—
	75歳以上	28,319	14.0	—	—	125	10.5	—
地域	西部地域	35,832	17.7	531	17.7	216	18.1	40.7
	北部地域	43,147	21.3	636	21.2	267	22.4	42.0
	南部地域	72,723	35.8	1,074	35.8	432	36.2	40.2
	東部地域	51,269	25.3	759	25.3	268	22.5	35.3
	(無効回答)	—	—	—	—	10	0.8	—
地域 内訳	南部地域 (中心市街地)	32,576	16.0	—	—	200	16.8	—
	南部地域 (中心市街地以外)	40,147	19.8	—	—	232	19.4	—

※1 令和4年10月1日現在の16歳以上の住民基本台帳登録者数（日本人のみ）

※2 宛名不明等の理由により返送された分を含む

6 地域区分

本調査における地域区分は、以下のとおりです。

【図表 各地域の位置と対象となる町丁目】



1 西部地域	2 北部地域	3 南部地域 (中心市街地)	4 南部地域 (中心市街地以外)	5 東部地域
飛田給 1～3 丁目 上石原 1～3 丁目 富士見町 1～4 丁目 下石原 1～3 丁目 多摩川 1～2 丁目 野水 1～2 丁目 西町	佐須町 1～5 丁目 柴崎 1～2 丁目 調布ヶ丘 3～4 丁目 深大寺元町 1～5 丁目 深大寺北町 1～7 丁目 深大寺東町 1～8 丁目 深大寺南町 1～5 丁目	小島町 1～2 丁目 布田 1～4 丁目 国領町 1～5・8 丁目	小島町 3 丁目 布田 5～6 丁目 国領町 6～7 丁目 染地 1～3 丁目 多摩川 3～7 丁目 調布ヶ丘 1～2 丁目 八雲台 1～2 丁目	菊野台 1～3 丁目 東つつじヶ丘 1～3 丁目 西つつじヶ丘 1～4 丁目 入間町 1～3 丁目 仙川町 1～3 丁目 緑ヶ丘 1～2 丁目 若葉町 1～3 丁目

<参考> 回答率の推移

調査年度	回答率	調査対象者	備考
平成 24 年度	42.2%	満 18 歳以上	
平成 25 年度	50.8%	満 16 歳以上	※平成 25 年度以降, 調査対象者は満 16 歳以上
平成 26 年度	49.1%	満 16 歳以上	
平成 27 年度	48.2%	満 16 歳以上	
平成 28 年度	48.7%	満 16 歳以上	
平成 29 年度	45.0%	満 16 歳以上	
平成 30 年度	45.1%	満 16 歳以上	
令和元年度	44.7%	満 16 歳以上	
令和 2 年度	45.0%	満 16 歳以上	
令和 3 年度	36.1%	満 16 歳以上	

## 7 報告書を見る際の注意事項

## (1) 集計方法

○本調査では、回答全体（n=1,193）をまとめて集計した「単純集計」のほか、過去の調査結果との「経年比較」や、性別や年齢層などの属性ごとに区分して集計した「クロス集計」を行っています。なお、属性によっては、回答数が少ないため、本調査の結果が調布市における当該属性の傾向と異なる可能性があることをご理解のうえ、調査結果をご覧ください。

## (2) 数値の端数処理方法

○回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合や、内訳の合計が、表示されている値と一致しない場合があります。

○上記比率の分母となる回答総数は、「n」として掲載しています。

## (3) その他

○本文及び図表において、設問選択肢の表記の長いものについては、煩雑さを避けるために、一部で表記を簡略化しています。

○一般的に、意識調査を実施する際に1,100件程度を対象とすれば母集団全体（本調査では市の人口に相当）の意見との誤差は±3%以内に収まるとされています。本調査の対象者数約3,000人（回収数1,193件）は調査結果を見るうえで、統計上有効な数値であると考えられます。

## (参考) 意識調査の必要サンプル数の計算方法

一般的な統計理論では、「〇〇について賛成か、反対か」という設問の場合、必要サンプル数は以下の式で求められます。

必要なサンプル数＝信頼水準の2乗×回答比率×（1－回答比率）÷目標誤差（%）の2乗

（本調査の必要サンプル数： $(1.96)^2 \times 0.5 \times (1-0.5) \div (0.03)^2 \approx 1,067$ （票））

信頼水準：正しく判断できる確率のこと。一般的に国などが行っている標本調査では、95%に対応する「1.96」という値が用いられる。

回答比率：賛成または反対の回答比率として設定するもの。通常は、調査対象者数が最大となる「0.5」を用いる。

目標誤差：標本調査（サンプリング調査）と全数調査の結果の間に生じる誤差（標本誤差）の目標値。本調査では±3.0%以内とするので、「0.03」とする。

資料：総務省統計局ホームページ



## 第2章 回答者の属性

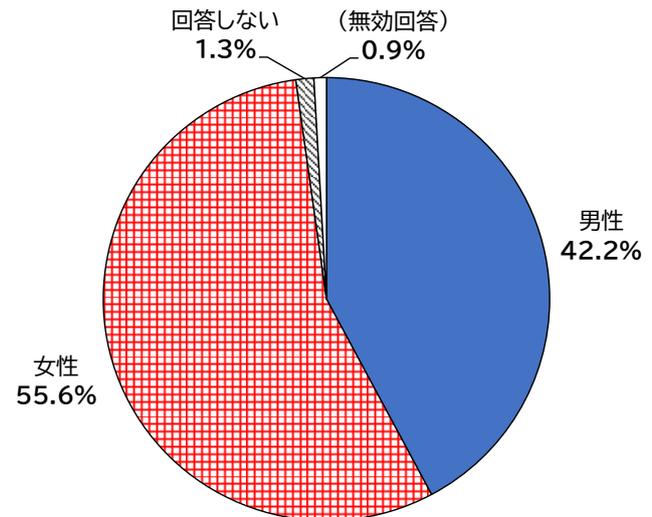
---



(1) 性別

<全体 (n=1,193) >

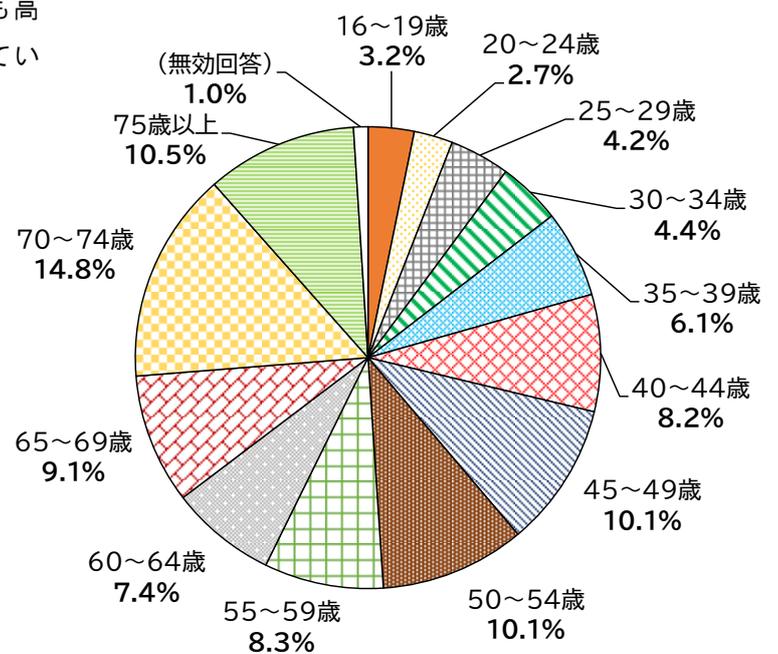
○回答者の性別は、男性が 42.2%，女性が 55.6%であり，女性が男性を 13.4 ポイント上回っています。



(2) 年齢層

<全体 (n=1,193) >

○70 歳以上 (70～74 歳, 75 歳以上) が最も高く，次いで 50 歳代, 40 歳代の順となっています。

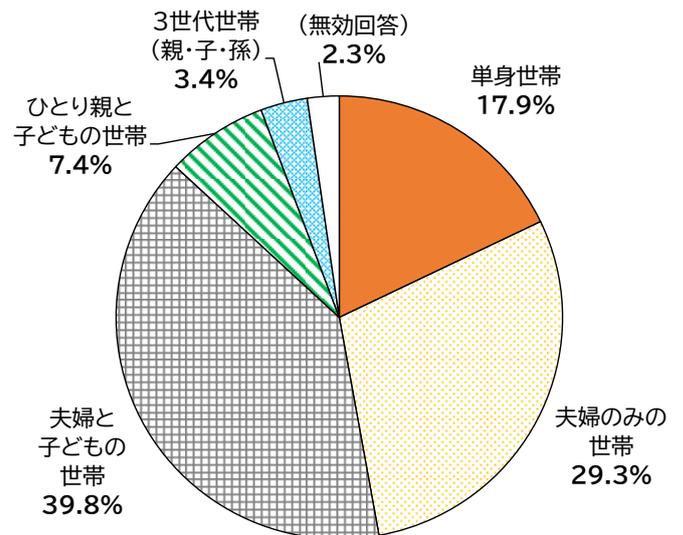


## 第2章 回答者の属性

### (3) 家族構成

<全体 (n=1,193) >

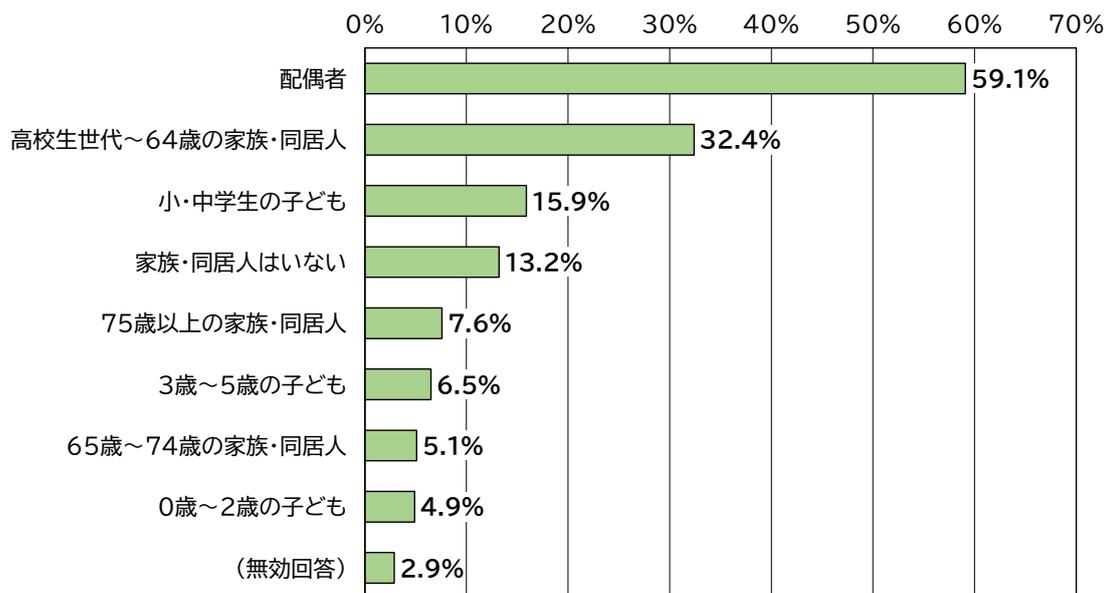
○「夫婦と子どもの世帯」が39.8%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」の29.3%、「単身世帯」の17.9%の順となっています。



### (4) 同居する家族

<全体 (n=1,193) >

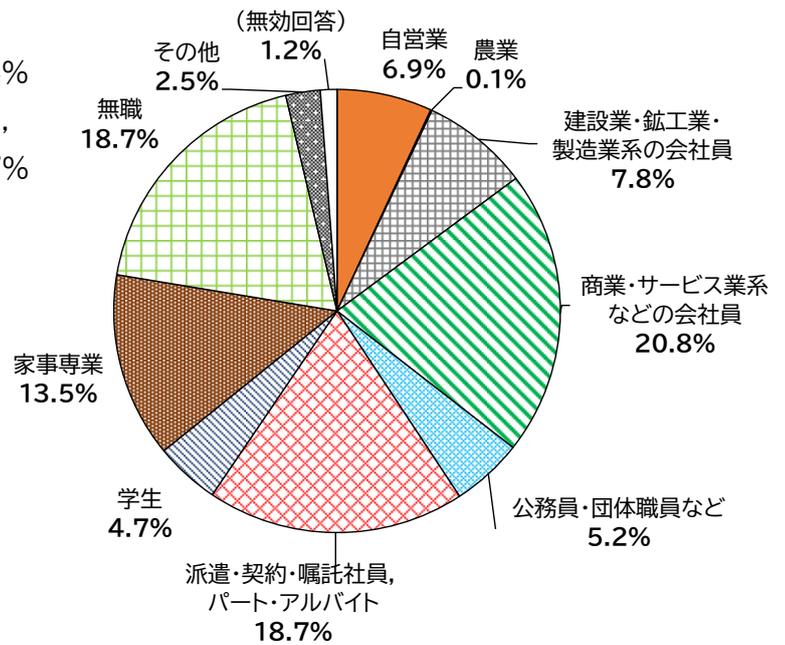
○「配偶者」が59.1%と最も高く、次いで「高校生世代～64歳の家族・同居人」の32.4%、「小・中学生の子ども」の15.9%の順となっています。



(5) 職業

<全体 (n=1,193) >

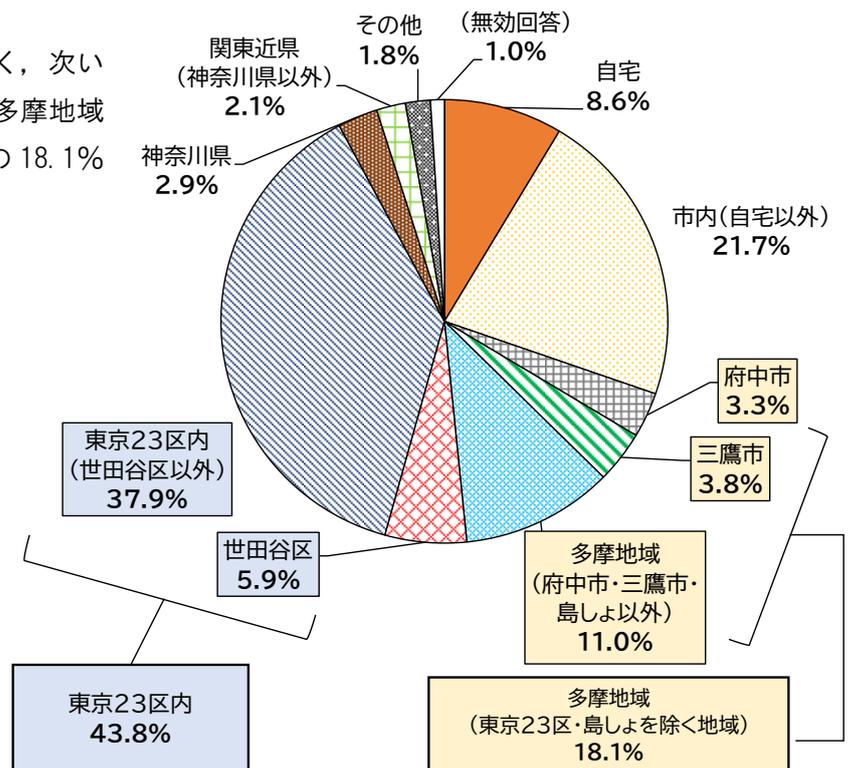
○「商業・サービス業系などの会社員」が20.8%と最も高く、次いで「派遣・契約・嘱託社員、パート・アルバイト」及び「無職」の18.7%の順となっています。



(5-1) 通勤（就業）・通学先

<全体 (n=687) >

○「東京23区内」が43.8%と最も高く、次いで「市内（自宅以外）」の21.7%、「多摩地域（東京23区・島しょを除く地域）」の18.1%の順となっています。

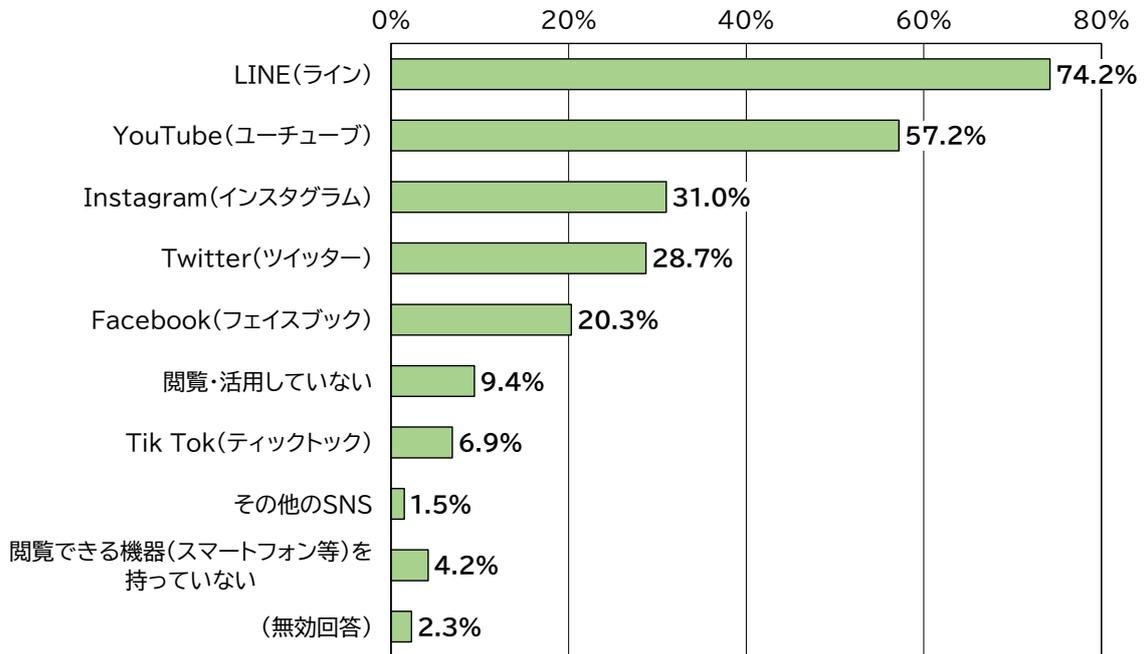


第2章 回答者の属性

(6) 普段閲覧・活用している SNS

<全体 (n=1,193) >

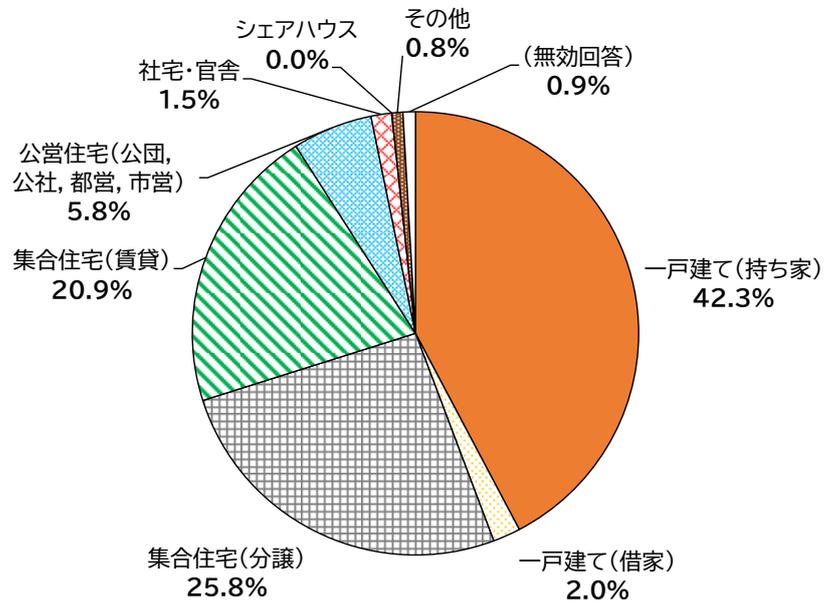
○「LINE (ライン)」が 74.2%と最も高く、次いで「YouTube (ユーチューブ)」の 57.2%、「Instagram (インスタグラム)」の 31.0%の順となっています。



(7) 居住する住居形態

<全体 (n=1,193) >

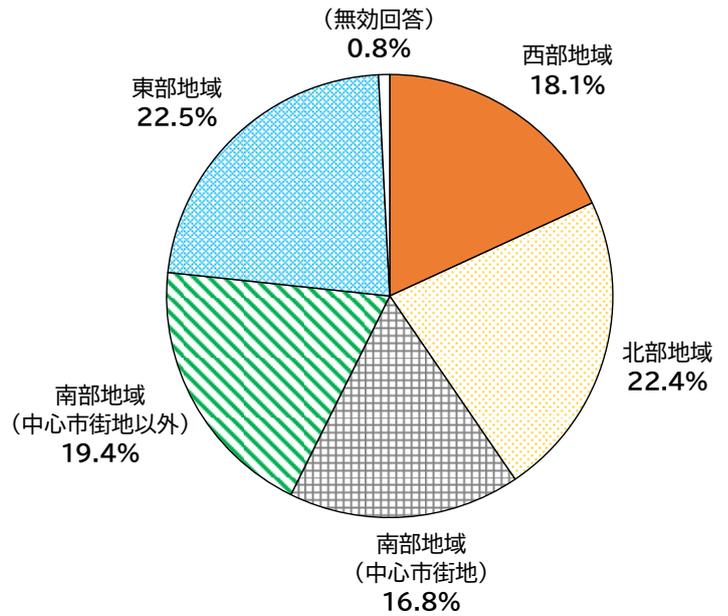
○「一戸建て(持ち家)」が 42.3%と最も高く、次いで「集合住宅(分譲)」の 25.8%、「集合住宅(賃貸)」の 20.9%の順となっています。



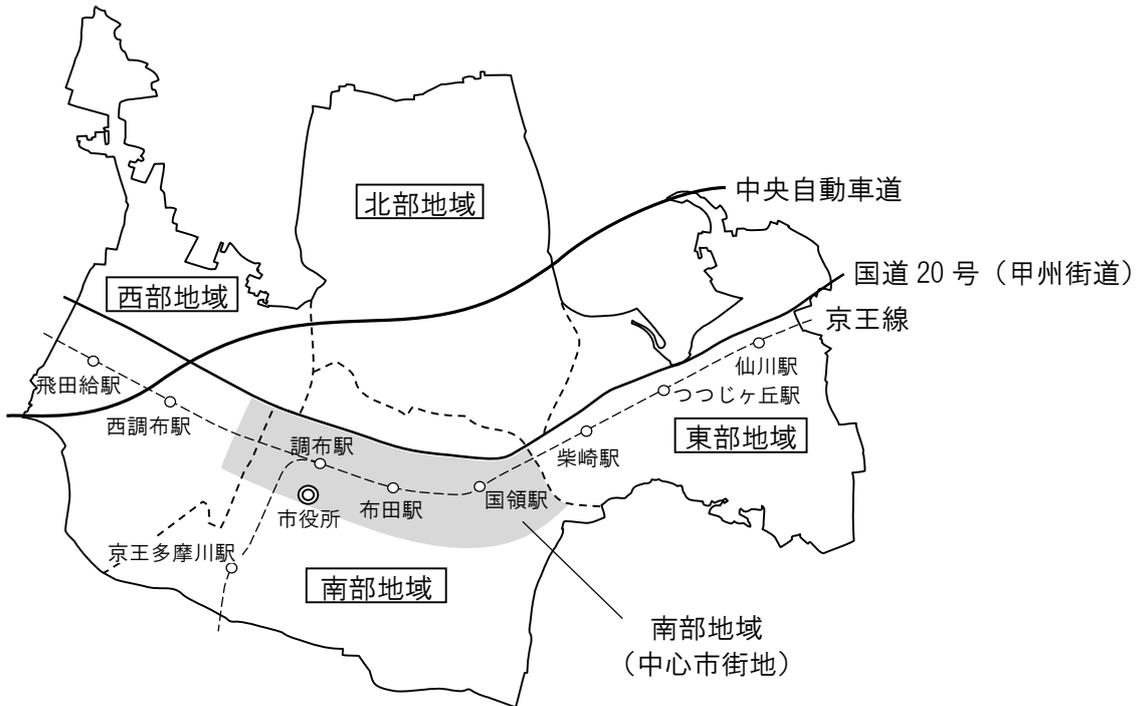
(8) 現在の居住地

<全体 (n=1,193)>

○「東部地域」が22.5%と最も高く、次いで「北部地域」の22.4%、「南部地域（中心市街地以外）」の19.4%の順となっています。



【図表 各地域の位置と対象となる町丁目】



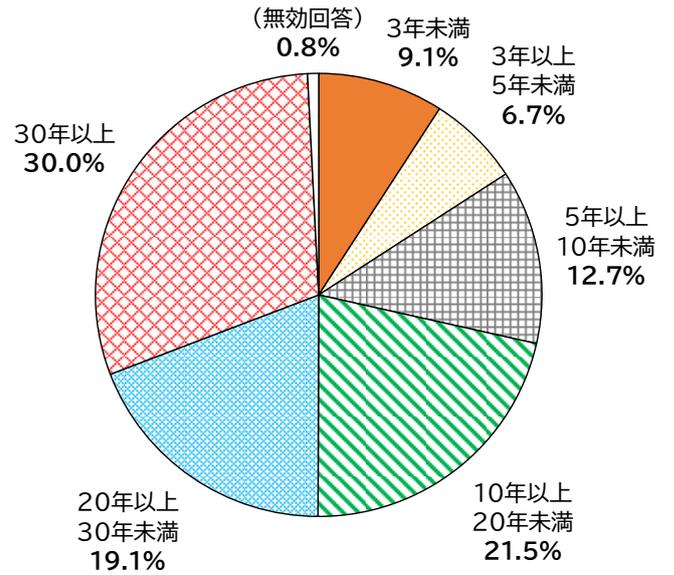
1 西部地域	2 北部地域	3 南部地域 (中心市街地)	4 南部地域 (中心市街地以外)	5 東部地域
飛田給 1～3 丁目 上石原 1～3 丁目 富士見町 1～4 丁目 下石原 1～3 丁目 多摩川 1～2 丁目 野水 1～2 丁目 西町	佐須町 1～5 丁目 柴崎 1～2 丁目 調布ヶ丘 3～4 丁目 深大寺元町 1～5 丁目 深大寺北町 1～7 丁目 深大寺東町 1～8 丁目 深大寺南町 1～5 丁目	小島町 1～2 丁目 布田 1～4 丁目 国領町 1～5・8 丁目	小島町 3 丁目 布田 5～6 丁目 国領町 6～7 丁目 染地 1～3 丁目 多摩川 3～7 丁目 調布ヶ丘 1～2 丁目 八雲台 1～2 丁目	菊野台 1～3 丁目 東つつじヶ丘 1～3 丁目 西つつじヶ丘 1～4 丁目 入間町 1～3 丁目 仙川町 1～3 丁目 緑ヶ丘 1～2 丁目 若葉町 1～3 丁目

第2章 回答者の属性

(9) 居住年数

<全体 (n=1,193) >

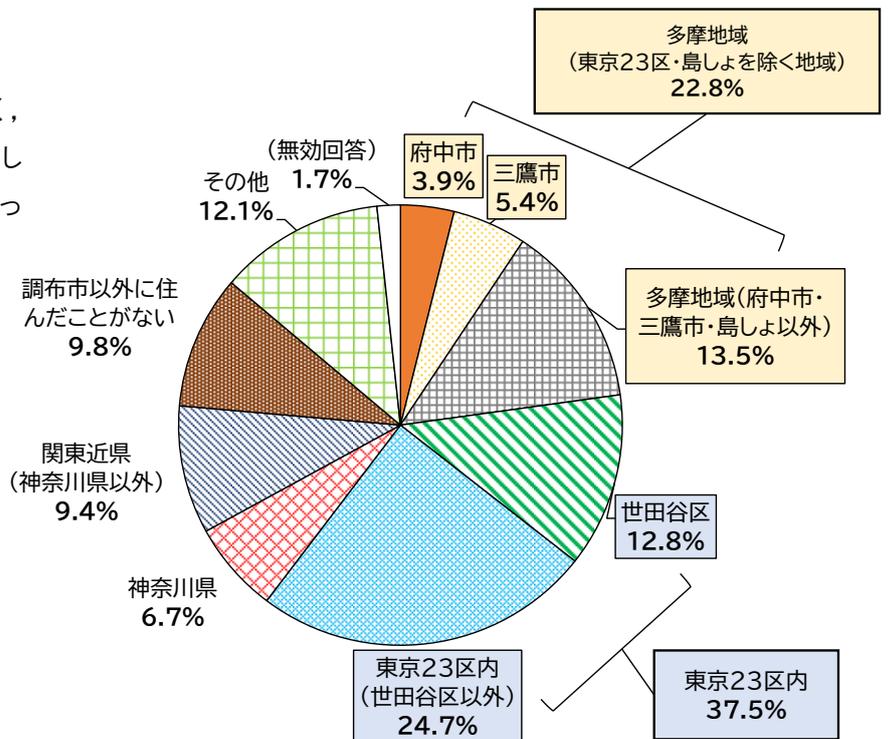
○「30年以上」が30.0%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の21.5%、「20年以上30年未満」の19.1%の順となっています。



(10) 以前の居住地

<全体 (n=1,193) >

○「東京23区内」が37.5%と最も高く、次いで「多摩地域（東京23区・島しょを除く地域）」の22.8%の順となっています。

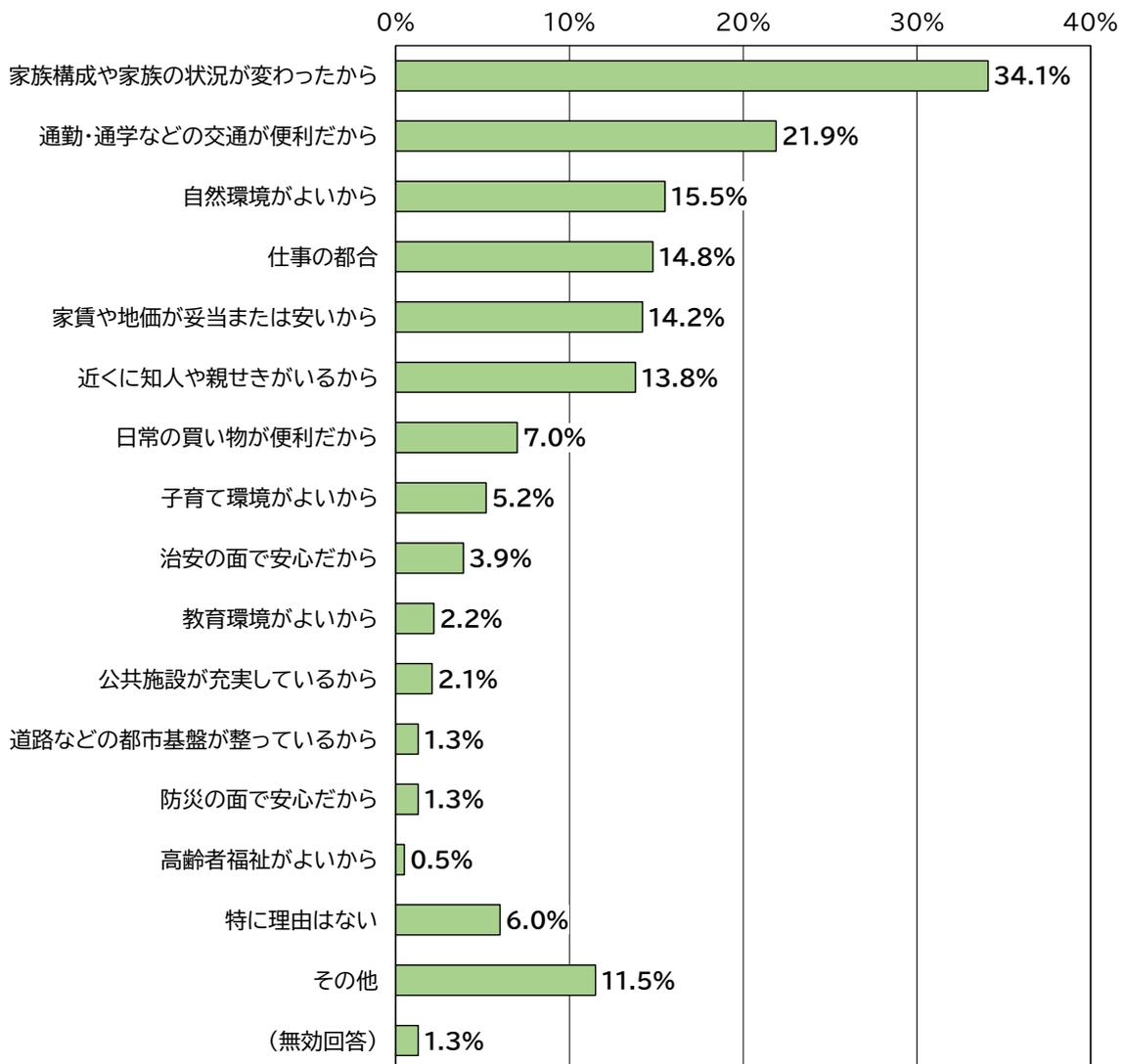


## (10-1) 調布市に住んだきっかけ

<全体 (n=1,056) >

(以前の居住地域が「府中市」「三鷹市」「多摩地域 (府中市・三鷹市・島しょ以外)」「世田谷区」「東京23区内 (世田谷区以外)」「神奈川県」「関東近県 (神奈川県以外)」「その他」である回答者のみ)

○「家族構成や家族の状況が変わったから」が34.1%と最も高く、次いで「通勤・通学などの交通が便利だから」の21.9%、「自然環境がよいから」の15.5%の順となっています。



## 第2章 回答者の属性

### <同居人別>

○「家族・同居人はいない」を除くすべてで、「家族構成や家族の状況が変わったから」が最も高くなっています。

選択肢	合計	配偶者	0歳～2歳 の子ども	3歳～5歳 の子ども	小・中学生 の子ども	高校生世代 ～64歳の家 族・同居人	65歳～74歳 の家族・ 同居人	75歳以上 の家族・ 同居人	家族・ 同居人は いない
全体	1,056	667	59	74	178	322	45	62	145
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
家族構成や家族の状況が変わったから	360	259	38	44	82	122	11	22	21
	34.1%	38.8%	64.4%	59.5%	46.1%	37.9%	24.4%	35.5%	14.5%
通勤・通学などの交通が便利だから	231	154	14	11	45	53	5	5	42
	21.9%	23.1%	23.7%	14.9%	25.3%	16.5%	11.1%	8.1%	29.0%
自然環境がよいから	164	109	15	11	20	56	2	13	16
	15.5%	16.3%	25.4%	14.9%	11.2%	17.4%	4.4%	21.0%	11.0%
仕事の都合	156	90	14	11	20	29	4	5	41
	14.8%	13.5%	23.7%	14.9%	11.2%	9.0%	8.9%	8.1%	28.3%
家賃や地価が妥当または安いから	150	98	14	14	25	53	8	9	16
	14.2%	14.7%	23.7%	18.9%	14.0%	16.5%	17.8%	14.5%	11.0%
近くに知人や親せきがいるから	146	112	9	16	29	45	3	5	8
	13.8%	16.8%	15.3%	21.6%	16.3%	14.0%	6.7%	8.1%	5.5%
日常の買い物が便利だから	74	49	4	4	7	18	1	2	10
	7.0%	7.3%	6.8%	5.4%	3.9%	5.6%	2.2%	3.2%	6.9%
子育て環境がよいから	55	42	9	10	15	21	1	2	3
	5.2%	6.3%	15.3%	13.5%	8.4%	6.5%	2.2%	3.2%	2.1%
治安の面で安心だから	41	20	7	4	5	14	0	3	7
	3.9%	3.0%	11.9%	5.4%	2.8%	4.3%	0.0%	4.8%	4.8%
教育環境がよいから	23	16	2	1	6	10	0	1	2
	2.2%	2.4%	3.4%	1.4%	3.4%	3.1%	0.0%	1.6%	1.4%
公共施設が充実しているから	22	11	2	2	1	8	0	2	2
	2.1%	1.6%	3.4%	2.7%	0.6%	2.5%	0.0%	3.2%	1.4%
道路などの都市基盤が整っているから	14	9	0	2	3	6	0	0	1
	1.3%	1.3%	0.0%	2.7%	1.7%	1.9%	0.0%	0.0%	0.7%
防災の面で安心だから	14	9	0	0	2	4	0	1	1
	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%	1.1%	1.2%	0.0%	1.6%	0.7%
高齢者福祉がよいから	5	3	1	1	0	1	0	2	0
	0.5%	0.4%	1.7%	1.4%	0.0%	0.3%	0.0%	3.2%	0.0%
特に理由はない	63	32	0	0	4	16	6	4	13
	6.0%	4.8%	0.0%	0.0%	2.2%	5.0%	13.3%	6.5%	9.0%
その他	121	67	1	0	11	50	8	3	22
	11.5%	10.0%	1.7%	0.0%	6.2%	15.5%	17.8%	4.8%	15.2%
(無効回答)	14	9	0	0	2	4	1	2	2
	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%	1.1%	1.2%	2.2%	3.2%	1.4%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：

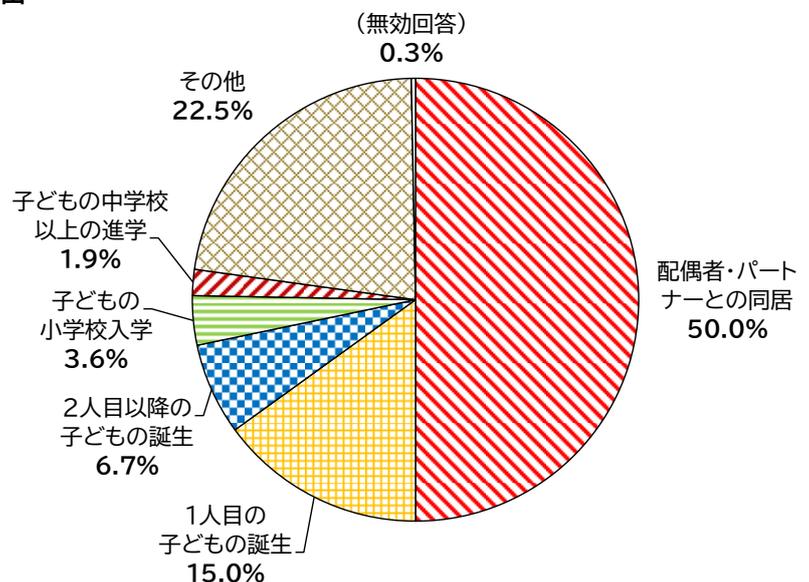
回答割合が2番目に高い：

### (10-2) 家族構成や家族の状況が変わった理由

<全体 (n=360) >

(「家族構成や家族の状況が変わったから」の回答者のみ)

○「配偶者・パートナーとの同居」が50.0%と最も高く、次いで「その他」の22.5%、「1人目の子どもの誕生」の15.0%、「2人目以降の子どもの誕生」の6.7%の順となっています。



<同居人別>

○「65歳～74歳の家族・同居人」、「75歳以上の家族・同居人」、「家族・同居人はいない」を除くすべてにおいて、「配偶者・パートナーとの同居」が4割を上回っています。

